

# YAMAKADO NEWSLETTER

NO.183

2015/02/17

山門水源の森を次の  
世代に引き継ぐ会

## 暖冬予報に反して2月の大雪

今冬初？のパウダースノウの湿原(15/02/10)



1月末はここまで融雪が進んだが(15/01/28)

1月末には融雪が進み湿原の一部は地表が顔を出した。2009年以来の早い春を迎えられ保全作業が本格化出来そうだと、密かにほくそ笑んだのもつかの間で2月に入って断続的な降雪、9日からは今冬最強の寒気の流入で一夜にして真冬の状態に逆戻りしました。



消雪した北部湿原(09/02/12)

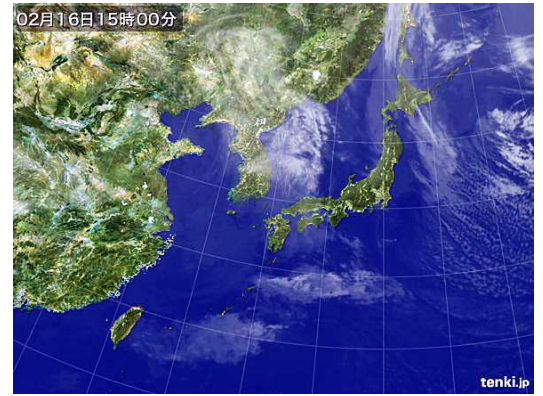


新雪に埋まったやまかど・森の楽舎(15/02/10)

た。特に2/9からの降雪は短時間に急激な積雪となり、夕刻森林キーパーが、楽舎横の駐車場から県道へ脱出するのに1時間を要したというものでした。翌10日も朝方の湖北は、ホワイトアウト状態で8号線・161号線ともに通行止めとなり楽舎に着くのにも難儀する状態となりました。この日の北部湿原脇の状態がトップの画像です。スノウシューを履いても効き目が無いパウダースノウで、場所によっては雪の中を泳ぐように移動しなくてはならないほどでした。降雪の恐ろしさを再認識させられた1日でした。

福井県境峠からの景色抜群

近年観察コースの『各窓』からの遠望がかつてのようにスッキリとする日数が減ってきています。今年度編集子が出向いた中で、これは素晴らしいと感じた日は、2/16 ただ 1 日でした。この日は、福井県との県境（総見山への登山ルート）の峠まで足を伸ばしてみました。2012 年元旦の守護岩詣の後会員諸氏と出向いて以来の素晴らしい景色が堪能できました。当日の衛星画像（右）を見ると西から雲が近づいているものの山門水源の森あたりは晴天域に入っていることが分かります。白銀の峠に立って 360° の眺望は圧巻そのものです。新雪が無い限り雪融けまでは、雪面が徐々に固まりますので天気図を注視して是非チャレンジして下さい。守護岩から峠までは 15 分前後です。下の写真が 2/16 のものです。



福井県境の峠



塗装当時の輝きを失っていない楽舎の屋根

毎年山門水源の森の付属湿地の観察橋や楽舎の廊下の塗装を続け維持管理していますが、屋根は建設以来一昨年初めて塗り替えを行いました。その効果は抜群で、度重なる降雪と落雪を繰り返していますが、塗装当時の輝きを失っていません。こまめなメンテナンスの必要性を痛感させられます。



PHOTO BY KUBOTA